



頼りになる「千葉教育」



とみなが やすお
鋸南町教育委員会教育長 富永 安男

1 教育情報誌の最先端に行く「千葉教育」

(1) シリーズ現代の教育事情

私自身も現役教員のころ、「教育情報誌」の雄として大変お世話になった。現在は「シリーズ現代の教育事情」と称し、年間6回の特集を組んでいる。今年度蓮号の特集、「千葉の教育150年」は、「千葉教育」の歩みを振り返るとともに、考えさせられることが多く、重厚な内容で感銘を受けた。次年度もこの意気度攻めの「千葉教育」を期待する。

(2) 一読者として思ったこと

内容が年々充実しているのは、読者アンケートの結果を踏まえ、十分に検討しているからであろう。特に、「学校を創る」と「授業を創る」は、多くの教員の貴重な情報源となっている。「学校NOW!」も充実している。

また、各界の第一人者がお書きになる「提言」は、《目から鱗》の思いである。教員以外の方から学ぶことが一番大事だと考えている私は、毎回楽しみにしている。

以下に印象深かった言葉（抜粋）をあげる。

- 子供の成長や将来への期待は、学びへの期待でもある。－中略－学びへの期待はヒトの本質といえる。(桜 No.679号)
- スポーツと教育がとても密接だということです。(菊 No.682号)
- 学校教育で重点的に指導していただきたいことを三つ提言します。一つ目は国語（日本語）です。二つ目は歴史です。三つめは道徳です。(梅 No.683号)

2 総合教育センターの優れた研修企画

カリキュラム開発部担当の「出前あすなろ

塾」と「出前中堅教員サポート塾」、更には「いつでも どこでも オーダーメイド研修」は優れた研修企画である。総合教育センターの職員が外に飛び出して教えてくださっている。

また、教育の情報化に関する内容についても、積極的に講師派遣を行っている。素晴らしいことである。

研修終了後に、次の様なアンケートを実施している点も評価したい。

- ①本日の研修は満足のいくものでしたか。
- ②研修内容を今後どのように生かしていこうと思いますか。
- ③今後学びたい事があれば記入して下さい。
当町でも次年度は是非実施したいと考えている。

3 AIと総合教育センター

「教育は人なり」である。どんなにAIが学校教育を席卷しようとも、最後の落としどころは教員による有難い話ではないか。

その研究はカリキュラム開発部にお任せするとして、「英会話や事務作業、プログラミングはAIが担うが、これからは知識力や計算力ではなく、《問いを立てる力》《編集力》《創造力》《表現力》が必要。」(週刊東洋経済11/14 AI時代の子育ての教科書より)とあった。

全く同感である。更には、向上を目指す前向きな意欲とやる気、粘り強さ、自己肯定感、コミュニケーション力、欲求や感情の自己調整などの非認知能力の育成が重要である。

これらの力が備われば、社会の変化に対応できる力が身に付くであろう。総合教育センターの今後益々の発展に期待している。